

No. 2

今更に如何なる事業に着手せしむべきかと
 之を問ふに先づ自問の必要あり。自問の
 第一は、自問の目的を如何にして達成せしむべきか
 第二は、自問の手段を如何にして採用せしむべきか
 第三は、自問の時期を如何にして決定せしむべきか
 第四は、自問の責任を如何にして負ふべきか
 第五は、自問の利益を如何にして分配せしむべきか
 第六は、自問の危険を如何にして回避せしむべきか
 第七は、自問の信用を如何にして維持せしむべきか
 第八は、自問の名声を如何にして増進せしむべきか
 第九は、自問の利益を如何にして確保せしむべきか
 第十は、自問の責任を如何にして免除せしむべきか
 第十一は、自問の利益を如何にして分配せしむべきか
 第十二は、自問の危険を如何にして回避せしむべきか
 第十三は、自問の信用を如何にして維持せしむべきか
 第十四は、自問の名声を如何にして増進せしむべきか
 第十五は、自問の利益を如何にして確保せしむべきか
 第十六は、自問の責任を如何にして免除せしむべきか
 第十七は、自問の利益を如何にして分配せしむべきか
 第十八は、自問の危険を如何にして回避せしむべきか
 第十九は、自問の信用を如何にして維持せしむべきか
 第二十は、自問の名声を如何にして増進せしむべきか

大正 年 月 日

商船同業會